

2011年度

科目名	保育実習指導			
担当教員	農野 寛治、桜井 智恵子、船本 淑恵			
配当	教福4		コード	80271
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 1
授業テーマ	保育実習にむけての事前学習と実習の総括			
目的と概要	<p>保育実習(保育所実習、施設実習、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ)の事前指導と事後指導を行い、保育士業務の理解と保育実践力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>事前指導では、実習を円滑にすすめるため、各実習現場で求められる知識・技術の再確認、実習内容と各自の実習課題の明確化を行う。また、実習に臨むに当たっての心構えや実習中における実習現場担当者、訪問担当教員からの指導等について学ぶ。事後指導では、実習で得られた各自の体験や学習内容を共有し、保育士業務の理解を深め、保育実践力の向上を図る。</p>			
成績評価法	平常点、授業時の発言・報告、レポート			
テキスト	使用しない。			
参考書	適宜紹介する。			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	<p>〈履修に当たっての注意・助言〉実習とはいえ、子どもの保育の現場に立つのであるから、真摯な姿勢でこの授業に臨むこと。〈準備学習〉保育所における保育計画(年間・月案・週案・日案)の理解、児童施設の「援助指針」の内容の理解を図っておくこと。手遊びや、絵本の読み聞かせ、ピアノ、絵画などの実技力を高めておくこと。</p>			
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の意義・目的・内容の理解(農野) <ul style="list-style-type: none"> ・保育士課程における各実習の位置づけ ・各実習の具体的内容の把握と実習計画全体の理解 2. 実習施設の理解(船本) <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設(保育所を除く)の理解 ・保育所の理解 3. 実習方法の理解(農野) <ul style="list-style-type: none"> ・実習の段階と具体的内容の理解 ・保育士の職務の理解 4. 保育所・施設の現場から学ぶ(桜井) <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の現状と保育士に求められる知識・技術 ・施設の現状と職員に求められる知識・技術 5. 実習に関する事務手続きの把握(農野) <ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類等の確認と指導 6. 実習記録の意義と方法(船本) <ul style="list-style-type: none"> ・記録の意義 ・記録の内容と記録方法 7. 保育計画と指導計画(桜井) <ul style="list-style-type: none"> ・計画の意味とその理解 ・計画案作成のための基礎的知識 8. 実習課題の明確化(桜井) <ul style="list-style-type: none"> ・実習課題とは何か ・各自の実習課題の設定 9. 保育士登録の手続きの把握(船本) <ul style="list-style-type: none"> ・必要書類等の確認と指導 10. 実習中における指導の理解(桜井) <ul style="list-style-type: none"> ・保育実習資料の配布 ・実習中の連絡方法 11. 実習事後指導1(船本) <ul style="list-style-type: none"> ・実習をふりかえる 12. 実習事後指導2(桜井) <ul style="list-style-type: none"> ・各自の課題設定とその成果 13. 実習事後指導3 <ul style="list-style-type: none"> ・残された課題(船本) 14. 実習への心構え(桜井) <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利尊重の遵守と秘密保持 ・実習に臨む際の注意事項 15. これまでの実習から学ぶ(船本) <ul style="list-style-type: none"> ・実習報告、記録映像の解説と留意事項 				